

愛媛県立衛生環境研究所との共同研究

全国地研ネットワークに基づく食品およびヒトから分離される サルモネラ、大腸菌、カンピロバクター等の薬剤耐性の動向調査

【研究期間】 令和6年度～令和8年度

【背景及び目的】

- ・ 抗菌薬は、医療、畜産業、農業等幅広い分野で使用されている
- ・ しかし、不必要、不適切な抗菌薬の使い方もされている
- ・ 1980年以降、従来の抗菌薬が効かない「薬剤耐性菌」が世界中で増加傾向
- ・ 抗菌薬を使用する現場では、これまでの治療ができないケースも増えており、今後さらに増加することが懸念される

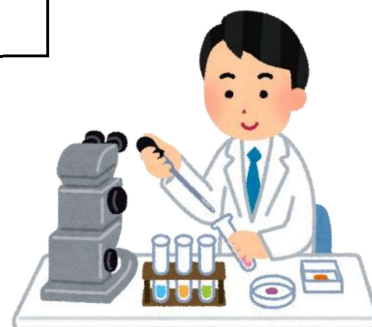


- ・ ヒト（有症者）及び流通食品における薬剤耐性菌の分布状況を把握
- ・ 得られた情報を解析し、我が国の薬剤耐性菌の動向についてのデータとする

【研究内容】



- ・ 菌株収集
- ・ 薬剤感受性試験
- ・ 遺伝子型別 等



医療、畜産業、水産業、農業などの分野で
把握された薬剤耐性菌と照合、解析

【期待される効果】

ヒト（有症者）及び流通食品における薬剤耐性菌の情報を収集、解析することで、公衆衛生、食品衛生への効果的な対策につなげることが期待される